

豊田 PCB 処理事業における豊田市の対応について

1 豊田 PCB 廃棄物処理施設への立入検査の実施状況について

前回の安全監視委員会後（平成 27 年 1 月 24 日から平成 27 年 7 月 6 日まで）、市は中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）豊田 PCB 処理事業所へ計 7 回の立入検査を行いました。概要は表 1、状況は、7 ページの写真のとおりです。

表 1 JESCO への立入検査の概要

	立入日	立 入 概 要
①	平成 27 年 2 月 24 日	【行政検査】 ・行政検査（排出ガス測定及び払出物の抜き取り検査）を実施した。結果、排出管理目標値（排出ガス）及び卒業判定基準（払出物）未満であることを確認した。
②	2 月 27 日	【小火トラブルの確認】 ・6F 分析室ドラフトチャンバー内で小火が発生し、消火器で消火されたとの連絡を受け、現地を確認した。 ・PCB の漏洩が無いことを確認した。
③	3 月 3 日	【分析室の状況確認】 ・2 月 27 日のトラブルへの対応の進捗状況について聞き取りを行った。
④	3 月 13 日	【GPS 軌跡表示の確認】 ・GPS 軌跡表示について、設定変更により平成 27 年度から始まるエリア間移動に伴う、市内通過車両についても監視ができることを確認した。
⑤	4 月 7 日	【緊急時連絡体制等の確認】 ・掲示されている緊急時連絡体制表について、新年度の体制に更新されていることを確認した。 ・1F、4F の稼働状況、5F 消火薬剤室の状況を確認し、特に異常は見受けられなかった。
⑥	5 月 20 日	【定期点検作業の確認】 ・各種機器の点検、修理作業について、安全に作業が行われていることを確認した。
⑦	6 月 19 日	【ネットワーク遮断中の受入状況の確認】 ・ネットワークが繋がらない状況下でも、搬入物と搬入物の一覧が記載されたリストを目視で照合しており、適切に受入が実施されていた。

⑧	6月30日	【行政検査】 ・行政検査（排出ガス測定及び払出物の抜き取り検査）を実施した。 結果については分析中である。
---	-------	---

2 平成26年度PCB環境モニタリング調査について

(1) 調査地点及び時期

PCB処理施設の稼働に伴う環境への影響を把握するため、平成14年度から大気、河川水質、河川底質について、平成16年度からはそれらに土壌を追加してPCB環境調査を実施しています。調査地点は、表2及び図1のとおりです。

表2 PCB環境モニタリング調査地点及び時期

調査媒体	調査地点名	所在地	回数	調査時期
大気	①山之手小学校	山之手町6丁目	2回/年	夏・冬
	②南部局	竹元町南細畔		
	③小原支所	小原町上平		
水質	④逢妻男川（PCB処理施設直下流）	元町	2回/年	夏・冬
	⑤逢妻男川（雲目橋）	駒場町雲目	1回/年	夏
	⑥逢妻男川（前川橋）※	花園町脇ノ田	1回/年	冬
底質	④逢妻男川（PCB処理施設直下流）	元町	1回/年	冬
	⑥逢妻男川（前川橋）※	花園町脇ノ田		
土壌	①山之手小学校	山之手町6丁目	1回/年	夏

※ 例年、水質・底質の調査は、逢妻男川のPCB処理施設直下流と雲目橋の2地点で実施していましたが、平成26年度の冬季調査では、雲目橋付近で代掻きによる白濁水が確認されたため、代掻き濁水流入前の前川橋で調査しました。

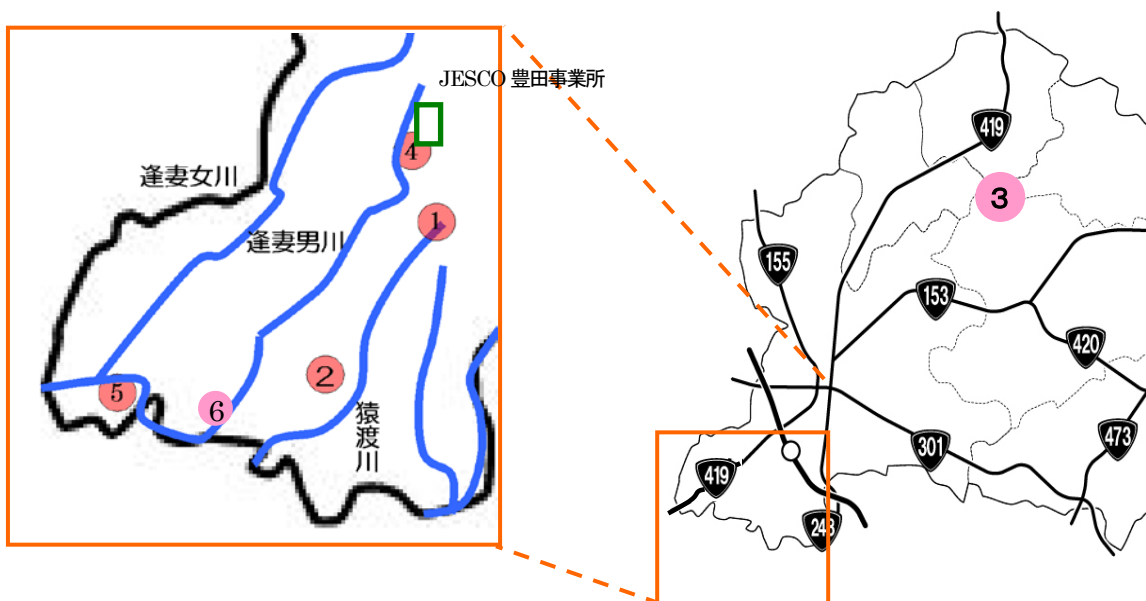


図1 調査地点

(2) 調査結果について

平成 26 年度に実施した調査結果は表 3、経年変化については、図 2 から図 5 までのとおりです。これらの結果は、環境省が実施した平成 25 年度化学物質環境実態調査の範囲内であり、施設稼動に伴う異常は認められませんでした。経年的にも横ばい又は若干の減少傾向を示しています。

表 3 環境モニタリング調査結果

媒体	調査地点	項目	H14～H17 夏季 (操業開始前)	H17 冬季～H25 (操業開始後)	H26 夏季	H26 冬季	H25 環境省 全国調査
大気	①山之手小学校	Total-PCB(pg/m ³)	94～300	39～390	250	81	19～1,100
		Co-PCBs (pg-TEQ/m ³)	0.0033～0.0051	0.00099～0.0055	0.0012	0.0025	
	②南部局	Total-PCB(pg/m ³)	110～570	43～600	270	94	16～840
		Co-PCBs (pg-TEQ/m ³)	0.0034～0.0090	0.0016～0.0070	0.0025	0.0026	
	③小原支所	Total-PCB(pg/m ³)		27～540	250	72	16～840
		Co-PCBs (pg-TEQ/m ³)		0.00014～0.0057	0.0029	0.00013	
河川 水質	④逢妻男川 (処理施設 直近)	Total-PCB(pg/L)	1,300～1,500	270～1,800	340	290	13～2,600
		Co-PCBs (pg-TEQ/L)	0.035～0.20	0.0041～0.10	0.0056	0.0053	
	⑤逢妻男川 (雲目橋)	Total-PCB(pg/L)	320～2,200	180～2,100	170		13～2,600
		Co-PCBs (pg-TEQ/L)	0.033～0.19	0.0023～0.088	0.0054		
	⑥逢妻男川 (前川橋)	Total-PCB(pg/L)				130	13～2,600
		Co-PCBs (pg-TEQ/L)				0.0053	
河川 底質	④逢妻男川 (処理施設 直近)	Total-PCB(pg/g)	17,000	420～6,700		810	43～650,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/g)	1.0	0.025～0.15		0.038	
	⑤逢妻男川 (雲目橋)	Total-PCB(pg/g)	400	300～2,600			43～650,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/g)	0.022	0.024～0.089			
	⑥逢妻男川 (前川橋)	Total-PCB(pg/g)				120	43～650,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/g)				0.0054	
土壌	①山之手小学校	Total-PCB(pg/g)	220～360	87～1,200	290		
		Co-PCBs (pg-TEQ/g)	0.070～0.12	0.00025～0.18	0.00062		

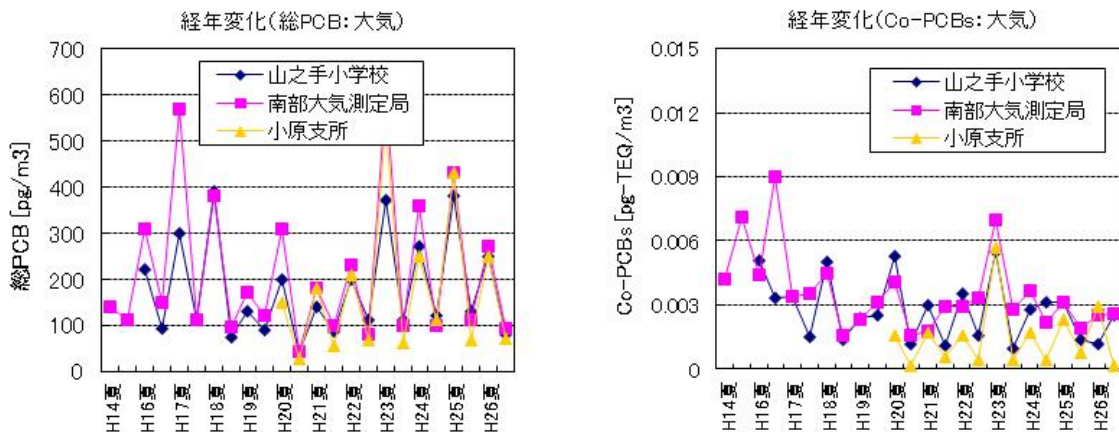


図 2 PCB 環境調査の経年変化 (大気)

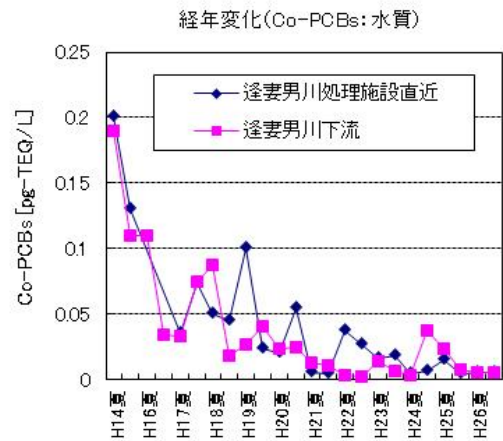
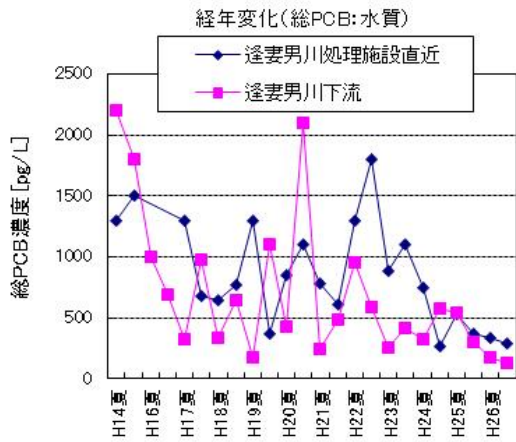


図3 PCB環境調査の経年変化(河川水質)

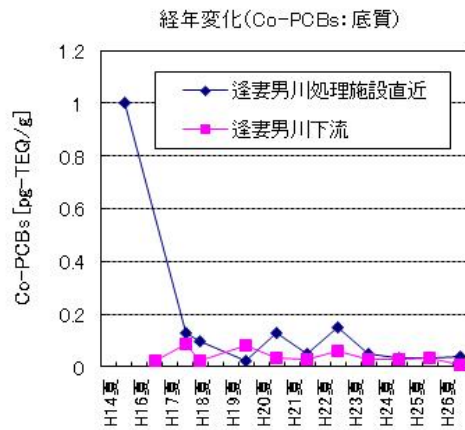
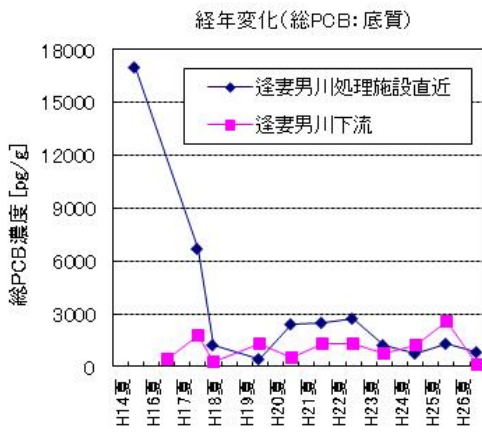


図4 PCB環境調査の経年変化(河川底質)

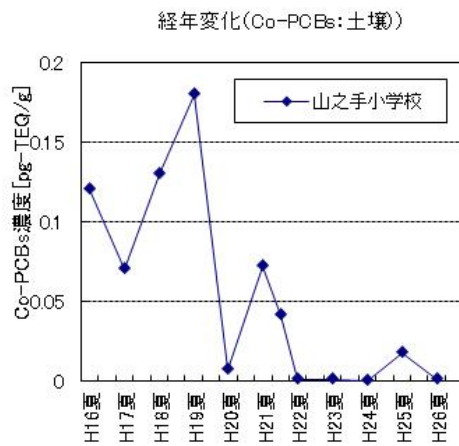
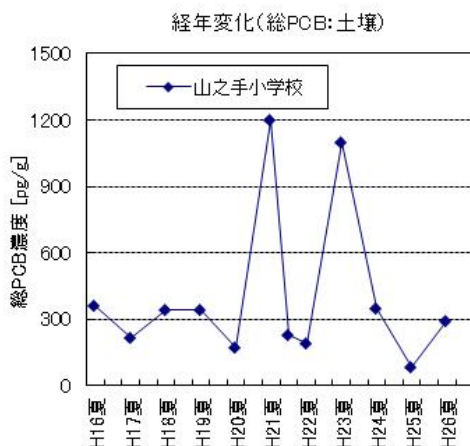


図5 PCB環境調査の経年変化(土壌)

3 高濃度 PCB 含有機器未処理事業者への立入調査について

市は、JESCO と合同で高濃度 PCB 含有機器の未処理事業者に対し立入調査を実施し、その保管状況を確認するとともに早期処理を促し、必要な指導を行っています。

① 通常立入

平成 26 年度及び平成 27 年 5 月から同年 6 月までの立入調査の結果は、表 4 のとおりです。

表 4 未処理事業者立入調査結果

		H26 年度	H27 年度 (通常)
未処理事業者数		37	26
継続処理中事業者数		13	12
立入調査実施数*		24	14
(内訳)	処理する意思あり	(12)	5
	処理する意思なし	(11)	9
H26 年度処理		2	—
H27 年度処理見込等		—	7
処理対象外		1	—

※ 未処理事業者であっても、継続的に処理を実施している事業者には立入調査をしていない。

平成 27 年 7 月現在、市内に 26 の未処理事業者がいますが、12 事業者については継続的に処理を実施しています。

また、5 事業者については、平成 30 年度（現在、改訂作業を進めている豊田市 PCB 廃棄物処理計画で、市内の PCB 廃棄物については、平成 30 年度までに処理を完了することを目標に定める予定です。）までの処理の意思が確認できました。そのうち、2 事業者は平成 26 年度の立入調査時には処理の意思が確認できなかった事業者でした。

処理の意思がない 9 事業者の主な理由は、「経済的に処理費用が捻出できない。」でした。

今後は、早期処理の意思がない事業者に対して、JESCO とともに何度も粘り強く立入調査を行い、一日も早い処理を促していきます。



図 6 平成 27 年 7 月現在 未処理事業者状況
(未処理事業者数 26 の内訳)

② 掘り起こし調査

平成 26 年度、環境省が実施した掘り起こし調査で、3 事業者について高濃度 PCB が使用された電気機器を使用又は保管している可能性があることが判明したため、平成 27 年 5 月に当該事業者に対して立入調査を実施しました。

その結果、2 事業者については、銘板等から高濃度 PCB 機器ではないことが分かりました。

残る 1 事業者については、該当機器が使用中であり、銘板を確認することができなかつたため、電気を止め工場の設備点検を行う際、銘板を確認するよう依頼しました。その結果、高濃度 PCB が使われた機器であった場合は、早急に機器を更新するとともに、JESCO で処理するよう啓発しました。

今後も、掘り起こし調査によって PCB が使用された電気機器を使用又は保管している疑いがある事業者を認知した場合は、立入調査を行い確認し、早期処理の啓発を実施していきます。

【状況写真】

○JESCO への立入状況



【H27.2.24 排ガス測定（活性炭処理後）】



【H27.4.7 消火薬剤室の確認】



【H27.5.20 定期点検（作業前打合せ）】



【H27.6.19 受入状況確認（目視による照合）】

○未処理事業者への立入状況



【保管場所（掲示版が見やすい位置に掲げてある）】



【使用中コンデンサ（今年度中処理予定）】